



# アウトオブバンドでのファームウェア更新

• 2025 年 7 月 : アウトオブバンドでのファームウェア更新用 ISO (1 ページ)

## 2025 年 7 月 : アウトオブバンドでのファームウェア更新用 ISO

このアウトオブバンドでのファームウェア更新用 ISO を使用して、Cisco Secure Malware Analytics アプライアンスのファームウェアを更新します。この方法では、ソフトウェアをリリースしなくてもファームウェアを更新できます。

始める前に



**重要** M6 シリーズハードウェアには、このファームウェアの更新が推奨されます。M5 シリーズアプライアンスで、2.19.4 ファームウェアの更新をすでに適用している場合、更新は不要です。2.19.4 以降、M5 ハードウェアのファームウェアに変更はありません。

ファームウェアの更新プロセスを開始する前に、次のことを確認します。

- ストレージ容量が 2GB 以上の USB デバイスであること。ただし、より高いパフォーマンスと信頼性を確保するため、より大きなドライブが推奨されます。
- アプライアンスの物理コンソールへのアクセス。
- USB 作成ツール (Windows の Rufus、Linux/macOS の dd など) - これは、エアギャップ更新プロセスに似ています。詳細については、次のドキュメントを参照してください。

ダウンロード先 :

<https://s3.amazonaws.com/sma-appliance-airgap-update/firmware-installer-2024.09.20250718T163908.srchash2139552d07a0.rel.iso>

ハードウェア プラットフォーム

- M5 シリーズ : 該当なし - 2.19.4 ファームウェアの更新が適用されている場合、ファームウェアの変更は不要です。

- **M6 シリーズ：推奨** - このファームウェアの更新を適用する

## 手順

- 
- ステップ1** ブート可能な USB を作成する：USB 作成ツールを使用して、ダウンロードした ISO ファイルからブート可能な USB ドライブを作成します。
- ステップ2** USB に接続する：ブート可能な USB ドライブをアプライアンスに接続します。
- ステップ3** BIOS を起動する：アプライアンスの電源を入れるか、再起動します。
- ステップ4** ブートメニューにアクセスする：BIOS 画面が表示されたら、**F6** を押します。
- ステップ5** USB デバイスを選択する：ブートメニューで USB デバイスを選択します。
- ステップ6** 進行状況を監視する：物理コンソールには、ブートシーケンスとファームウェアの更新の両方の進行状況が表示されます。
- ステップ7** 更新を完了する：プロンプトが表示されたら、USB デバイスを取り外して、再起動します。
- 

## バージョン情報：

この更新により、アプライアンスのファームウェアが、次のように変更されます。

- **バージョン**：2024.09.20250718T163908.srchash.2139552d07a0.rel
- **CIMC バージョン**：この更新により、Cisco Integrated Management Controller (CIMC) が、バージョン 4.3.6 に変更されます。

## 次のタスク

### SHA256 チェックサム

ダウンロードした ISO ファイルの完全性を確認します。SHA256 チェックサムを次と比較します。

```
da1a723901a259c7cd4b35ffeb1e06c2726fe8b569bafeba2aea7cb1436aaa23  
firmware-installer--2024.09.20250718T163908.srchash.2139552d07a0.rel.iso
```

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。